
君と一緒に春夏秋冬

イトカズ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と一緒に春夏秋冬

【Nコード】

N7224Z

【作者名】

イトカズ

【あらすじ】

大切な友達と、今日も楽しく過ごしています！

なっちゃんと朝ごはん

気づけば彼と出会っていて、気づけば彼と一緒に学校を卒業して、気づけば彼と一緒に住み込みのアルバイトを始めていた。気づくのが遅いけど、それはとてもいいことだと思う。

だってそれだけ当たり前に、彼が俺の生活の中に溶け込んでいるのだから。

ああ、ひとつ誤解しないで欲しいのは、別に俺は彼に友愛以外は持っていない。ほら、あれだ。巷で噂になっている男と男があーでこーで、なんてものはない。今のところ。

まあ、今のところどころか永遠にそんなもんはこないだろうけどさ。なぜかと言うと、それは、俺が彼の名前を呼ぶと、ものすっごくいやな顔を一日に一回はされるからさ。とても理不尽だけど。

「おっはよう、なっちゃん！」

「……………オハヨウゴザイマス」

彼が、なっちゃん。僕の大切な友人。一緒にアルバイトしてる仲間。さっきまでの彼っていうのも、もちろん、なっちゃんのこと。

なっちゃんは何でもできる。料理に裁縫に勉強、運動。唯一できないのは愛想笑いくらいなものだ。

今日はなっちゃんと、一緒に朝ごはんを食べる約束だった。

住み込みのアルバイトは、それはそれは予想外に重労働で、仕事をしては寝てー、また起きて仕事をしてーと、そんな感じで続けたせいで、ここ何日かはお互いの顔を見る暇さえなかった。

だから、もうちょっと、俺にむけるその「面倒なのがきやがった」

つていう顔を和らげてはくれまいか。

そんな思いでなっちゃんを見つめると、更に顔が険しくなった。
ちよつと寂しい。

一緒の朝ごはん。ようやく取り付けた約束。楽しみにしていたのは、俺だけだったのかな。

「お前、面倒くさい」

「え、突然何！ひどいよ！ていうか、なっちゃん顔怖い！」

「面倒だし、そのうえ朝ごはん一緒に食べようとかわざわざ仕事終わりの疲れた俺の部屋まで言いにくたくせに当の本人は1時間遅刻してくるとかお前何なの本当」

「えへ」

楽しみだったから寝るのが遅くなったんだよ！仕方がないじゃん！ほら、あれだよ！修学旅行前の眠れなくて興奮するあの感覚！あれとまさに合致！

そんなわけで俺は寝坊した。おおそうか。だから、なっちゃん怖い顔なのね！

「その含み笑い気持ち悪い」

「なっちゃんひどい！」

「もういいから、味噌汁温めなおして。ご飯よそつて。フライパンの中の卵盛り付けろ。冷蔵庫から梅干出して。ぼさつとすんな、動け」

「はいー！」

今日は、なっちゃんと朝ごはんです。

なっちゃんとの朝ごはんは楽しみで、俺はいつも寝坊してしまいます。

それでも、なっちゃんは、俺の起きる時間を見計らって、ご飯を作って待っていてくれます。

なっちゃんが大嫌いで、俺が大好きな、スクランブルエッグを作って。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7224z/>

君と一緒に春夏秋冬

2011年12月24日01時04分発行